～熊本県南部の拠点都市～「八代市」

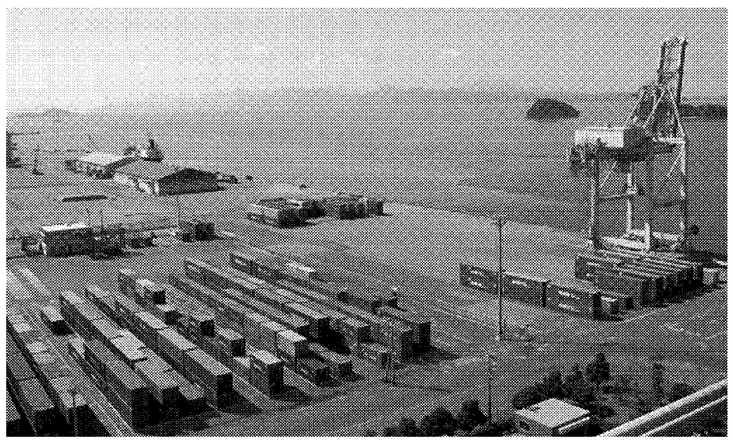
九州のほとんどの地域が直線で150キロメートルの範囲にある熊本県八代市。八代港は、その地理条件を最も大きな財産としている。九州各地と結ばれ、運ばれる物資は生活に欠かせない食料品や製造品、エネルギーなど広範に及ぶ。また同港は農林水産業や製造業など幅広い産業を支える物流拠点の役割も担っている。

港湾整備が続く八代港

八代港は岸壁性能を超えないように行われる大型船による積載制限や、干潮時の入港待ちなど非効率な利用が恒常化していた。そのような問題の解消のため大型船に対応した岸壁の早急な整備が地元経済界から長年にわたり求められている。

国は直轄事業として2007年に「八代港多目的国際ターミナル」を着工、既存岸壁を水深14メートルまで深くしている。入港船舶の大型化に対応して物流の効率化、高度化を図り、港の国際競争力を高めるのが目的だ。総事業費は94億円、12年度の完成予定だ。

10年に国は港湾整備の「選択と集中」の観点から、重要港湾103港から43の「重点港湾」を選定。熊本県では唯一、八代港を選んだ。また11年5月には志布志港（鹿児島県志布志市）と水島港（岡山県倉敷市）が穀物部門における「国際バルク戦略港湾」に指定された。八代港は両港との連携港湾とも位置付けられており、バルク貨物においても集積の拡大が期待されている。


八代港のコンテナターミナル

国内外に定期コンテナが運航

八代港では現在、金曜日と月曜日の週2回、国際コンテナ定期航路が韓国の釜山港まで運航されている。2便は別の船会社が運航しているが、07年からは一つの船会社と契約すれば都合に応じて2便から選べる「協調配船」が始まった。以降、輸送期間が以前に比べて最大1週間程度短縮できるようになっている。

08年からは小口混載貨物の取り扱いも始まり、1コンテナに満たない荷物でも世界35カ所に直接輸出ができるようになっている。従来は熊本県内の小口貨物の輸出は博多港や神戸港など主要港が使われることが多かった。小口混載により県内の荷主にとっては輸送期間の短縮やコスト削減につながっている。

国内定期コンテナも水曜日と土曜日の週2回運航しており、神戸や博多でも積み替えが可能となっている。

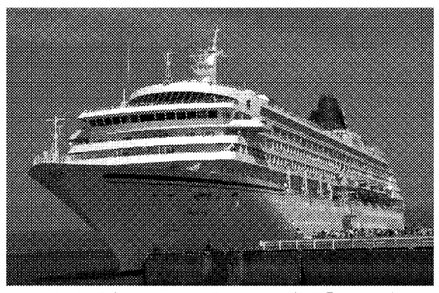
コンテナ利用に対する助成制度は熊本県を事務局とするポートセールス協議会が窓口だ。11年4月からは八代市も独自に「コンテナ利用助成制度」をスタート。前年度に八代港を利用していない新規荷主に対して1TEU（20フィートコンテナ換算）当たり1万円を助成している。

従来の助成制度を合わせると40フィートコンテナ1本当たり最大4万円の助成が可能だ。継続して利用している荷主に対しても1TEU当たり5000円の助成がある。

客船誘致も活発化

八代市は港の振興のため、熊本県と連携したクルーズ客船の誘致活動も船会社や旅行会社に対して行っている。11年度は従来の活動が功を奏して日本国籍のクルーズ客船4隻が入港、合計5回寄港する。6月は「ぱしふぃっくびいなす」が発着、「ふじ丸」も寄港した。9月には「ぱしふぃっくびいなす」が寄港、「飛鳥Ⅱ」が発着、11月には「にっぽん丸」が出発予定だ。

市は客船専用のバースやターミナルの未整備を課題とする一方、重点港湾に選ばれたことによる知名度向上を生かして県内観光団体などと連携した誘致に取り組みたい考えだ。


9月に八代港を発着するクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」

企業紹介

横場工業（八代市、江崎拓茂社長、0965・31・3200）はプラントメーカー。製鉄所や焼却施設などで使われる装置や、小麦粉を貯蔵するサイロといった産業用容器など大型のものが多い。近年は小麦粉関連のサイロの受注が活発という。また東京電力福島第一原子力発電所の事故で発生した、放射性物質を含む汚染水を貯蔵するタンクの製造にもかかわった。

横場工業の専用岸壁

同社は「3点セット」と呼んでいる専用岸壁、酸洗浄廃水処理設備、ショットブラスト工場を持っているのが売りだ。40年近くの歴史を持ち看板設備とも言える専用岸壁は、工場が港に接しているという立地条件を生かして船と工場間の物資が直接出し入れできる。資材調達では一度に大量の材料を運び入れることが可能。一方、車で運べない大型製品を分割せずに客先に納めることにも役立っている。

酸洗浄廃水処理設備は07年に完成。ステンレス製品の洗浄廃水を処理する。またショットブラストは鉄製品の表面のさびなどを落とす下地処理で、従来は屋外で行っていたが09年の工場完成で屋内作業となった。天候の影響による作業の遅れをなくすとともに、周辺への鉄粉の飛散を防ぐ。

同社が現在力を入れているのが、品質と安全に関する管理体制強化だ。品質については完成品のチェックだけでなく、作業工程のできるだけ早い段階から品質を意識させる活動を始める方針。安全に関する取り組みでは従来なかった罰則の導入も検討している。江崎社長は「品質と安全は別々のものでなく一体的で、両方を向上させていく」と意欲をみせている。

福島和敏 市長 インタビュー

八代市の福島和敏市長が市政改革を加速させている。09年9月の就任以来、「丸ごと良い物」という意味を込めたブランド戦略「八代ごろよか計画」を策定。11年4月には組織改正を行い、企画戦略部門や港湾営業などを強化している。就任2年目を迎えようとする福島市長に現状と今後について聞いた。

―八代港営業隊など、印象的な名称変更や企画戦略部発足など精力的です。

「市役所は市民の役に立つためにある。また組織は分かりやすくなければならない。今回の組織は市役所がどのように見られているか、市民目線で考えてゼロベースで見直した。企画部門は従来あったが誰が実行に移すかは不明確だった。今後は責任を持って戦略を実現していく」

南九州全体を考えて連携

―市経済の現状はいかがでしょうか。

「八代港の重点港湾選定と九州新幹線の全線開業が大きなチャンスだ。モノ、人の交流が活発になれば経済的に好影響が出る」

―具体的な産業振興は。

「農業の振興に力を入れる。市として販売や流通にも積極的にかかわっていく。11年度は外に向かって打って出る年と位置づけている。アンテナショップやフェアなどを生かしていきたい。トマト、メロン、お茶、果物のバンペイユなど優良なものが多くがある。中国などアジアにも売り込んでいく考えだ」

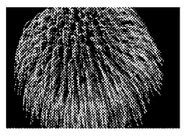
―今後も地域間競争が激しくなりそうです。

「まずは本市の振興を目指すのは当然だが、南九州全体を考えて周辺と連携することも重要だ。まずは熊本県内の水俣市、人吉市との連携を活発化させたい」

八代の観光情報発信基地「八代よかとこ宣伝隊」

5月 九州国際スリーデーマーチ
世界各国からウォーカーが集結。日本三急流の一つである球磨川や、火の国発祥となった清流氷川に育まれる八代市・氷川町を舞台に自然と楽しむコースを設定した「歩く祭典」

10月 やつしろ全国花火競技大会
全国30業者100名の花火師の技の競演。九州各地からバスツアーも企画され、去年は28万人の観光客が10月の花火に魅了されました。本年は10月22日（土）に開催されます。



11月 九州三大祭 八代妙見祭
370年続くこの祭りは亀蛇が舞い、神馬が跳ねる。絢爛豪華な時代絵巻。国指定重要無形民俗文化財になっている格式ある神幸行列と勇壮な演舞は、まさに静と動の極致。

〒866-0831 熊本県八代市萩原町1丁目1-1八代駅内
TEL（0965）31-8200　FAX（0965）32-2334
八代よかとこ宣伝隊ホームページ http://www.yokatoko.info/

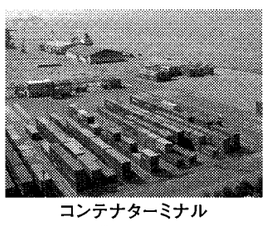
世界から八代港へ！　八代港からお客様へ!!

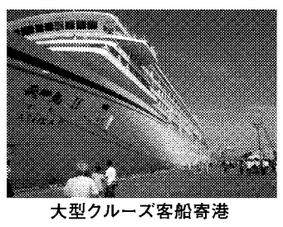
一般港湾運送事業
通関業
船舶代理店業

船社代理店
興亜海運株式会社
三栄海運株式会社
鈴与海運株式会社
セイノーロジックス株式会社

海と陸のトータルサービス
八代港運株式会社
〒866-0034
熊本県八代新港町2丁目4番地3
TEL（0965）37-3111
FAX（0965）37-3200

九州を支える重点港湾！「八代港」


コンテナターミナル


大型クルーズ客船寄港

バルク貨物船入港

（八代港港湾振興協会）
当協会は、79の企業・団体と19の海事関係行政機関で組織されており、要望活動、港利用促進のためのポートセールス活動、大型クルーズ客船の寄港誘致活動、八代港を身近に感じてもらうためのイベントの開催など、地域に愛される八代港づくりに取り組んでいます。

八代港港湾振興協会
PORT OF YATSUSHIRO
事務局／熊本県八代市重点港湾八代港営業隊
〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25　TEL／FAX 0965-43-7855
HP http://www.yport.jp/　E-mail info@yport.jp

横場工業株式会社　熊本県八代市新港町1-6　TEL 0965-31-3200
http://www.yokoba.co.jp

平成23年度 八代港
八代港のご利用をお願いします
コンテナ輸送に関する助成事業のご案内

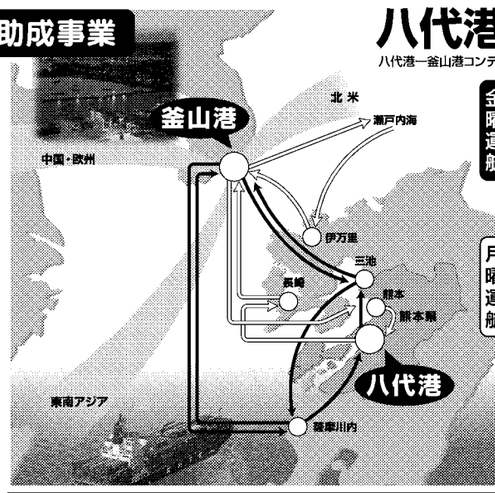
Ⅰ国際コンテナ利用緊急対策助成事業

助成の概要
熊本県内港のコンテナ貨物取扱量の拡大に向け、熊本県コンテナ利用緊急対策助成事業補助金を活用し、八代港国際コンテナ定期航路を利用された荷主企業に対して助成を行います。

助成メニュー
①新規利用企業に対する助成事業
平成22年度に熊本県内港を利用したことがない荷主企業に対して、1TEUあたり1万円を助成します。
②継続利用企業に対する助成事業
平成22年度に熊本県内港を利用したことがある荷主企業に対して、1TEUあたり5千円を助成します。

ご利用にあたって
●この事業は、平成23年4月1日～平成24年3月31日の期間、八代港を利用した場合に適用されます。
●予算の範囲内での助成となりますので、全額は助成されないこともあります。
●国内貨物利用は除きます。
●1荷主あたりの上限額の設定がなく、すべての実入りコンテナが対象です。
●別途、八代市が実施する「八代市コンテナ利用助成金」申請により、併せて40fコンテナ1本当たり、最大4万円が助成されます。

八代港から世界へ。
八代港―釜山港コンテナ国際航路で広がるアジアへ、そして世界へ。



金曜運航 八代港→釜山港
八代港(金)→三池(金)→釜山(土・日)→三池(月)→薩摩川内(火)→釜山(水)→薩摩川内(木)→八代港(金)
●船会社／興亜海運株式会社(HUNG-A LINE)
●日本総代理店／三栄海運株式会社
●船舶代理店／八代港運株式会社 TEL.0965-37-3111

月曜運航 八代港⇨釜山港
八代港(月)⇨長崎(火)⇨釜山(水)⇨瀬戸内海地方(木・金)⇨伊万里(土)⇨釜山(日)⇨熊本港(月)⇨八代港(月)
●船会社／高麗海運株式会社(KMTC LINE)
●日本総代理店／コスモスマリタイム株式会社
●船舶代理店／日本通運株式会社 TEL 0965-37-0011
※「八代港・釜山港」の揚げ積みに関しては、協関配船の取扱を行っています。

Ⅱ国内コンテナ定期航路利用助成事業
平成22年度に八代港を利用したことがない荷主企業に対して、八代港の国内コンテナ定期航路を利用して輸出入を行う場合に、1TEUあたり5千円を、1荷主7万5千円を上限として助成します。（ただし、国内貨物利用を除きます。）

■貨物の流れ（週2便／水曜・土曜運航）

八代港	水曜日	八代港	土曜日
門司港	木曜日	門司港	月曜日
神戸港	金曜日	神戸港	火曜日
門司港／博多港	土曜日	釜山港	水曜日
神戸港	月曜日	神戸港	木曜日
博多港	火曜日	門司港／博多港	金曜日
八代港	水曜日	八代港	土曜日

コンテナ輸出入に関するご用命は
㈱曙組　TEL 0965-37-1355
九州紙運輸㈱八代営業所　TEL 0965-46-5220
パシフィックグレーンセンター㈱八代支店　TEL 0965-37-3241
八代港運㈱　TEL 0965-37-3111
㈱上組八代支店　TEL 0965-37-3565
日本通運㈱八代支店　TEL 0965-37-0011
松木運輸㈱　TEL 0965-37-1101
（順不同）

お問い合わせ先
八代港ポートセールス協議会事務局（熊本県土木部港湾課内）〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL 096-333-2514　FAX 096-387-2461　URL http://www.f2.dion.ne.jp/~yat-port/